



生活福祉部会

今年三年目を迎え、毎月の部会は輪番制にし全員が担当しました。

間口の広い生活福祉部会では、年二回から四回、当事者、支援者を招き学習会を行っています。多様な福祉の課題を民生委員・児童委員としてどのような支援が必要なのかを学んで来ました。

六月は、今増えている「外国の方に対する支援について」学び、言葉の壁や地域社会で苦勞されている外国の方にどのように手を差し伸べて共存して行けるのかを学ぶ機会になりました。七月は拡大学習会とし

て「子どもの貧困について」アスポーツ学習支援を行っている白鳥先生に講演をしていただきました。今、学習支援や子ども食堂が地域で広がっておりますが、一人の中学三年生の少年を

取り上げた取材では、貧困の深刻さに胸が痛み支援して下さっている方々に頭が下がり地域での把握が必要

と思えました。部会員さんからは「聞いて良かったです」との声がありました。まずは現実を知る事が大事と思

いました。又、部会員が童心に帰り障害者、園児との地域交流会、福祉まつりでは一体となつて笑顔で楽しんでたりバルーンアートの体

児童福祉部会

験もありました。共に生活福祉部会員と学び課題を共有出来た事に感謝致します。

重点目標、①児童に関する学習会や視察研修を開催

し、会員個々の資質の向上をはかる。②情報及び意見交換を行い、現状の把握に努める。

二十二名の部会員で三年間、多岐にわたり学んで来ました。

子ども達に関することで、虐待、障害、貧困、ひきこもり、非行について講師の話の聞きました。「早期の対応で改善に繋げる」と。果たして私達に何が出るのかと、深く考えさせられました。

視察研修では、現場で実状を目の当たりにし、肌で、心で、多くのことを感じて来ました。給食センターの見学で見た、おいしそうな給食は、どの子も平等に食べられると思うと幸せな気持ちになりました。

情報及び意見交換では、各地区の活動、課題を出し

合い、本部職員の助言を頂きながら、みんなで民生委員・児童委員の役割や難しさを共有しました。

他に、公共交通の不便な地域では、お互い様の精神で助け合いの会を発足したり、伝統ある行事を継続する努力をしています。

殆んどの方は、民生委員・児童委員を受諾して、それらのことを深く知り協力する様になったのだと思います。

一丸となつて取り組んだおもちゃ作り、本当に楽しく忘れられない思い出となりました。

改選後違う部会に所属されても、積極的に取り組む学ぶ意欲は継続されることでしょう。

「一期一会」に感謝！



主任児童委員部会

虐待、貧困などで辛い思いをして子供たちがいます。家の外からは見えにくく、とてもデリケートな問題であるために、私達はどうのような対応を進めたらよいか、何ができるのかと、常に自問しています。

主任児童委員という立場は、さて何が出来る、何をするとというように、はつきりと目に見える活動に繋がらない場合が多くあるなか、困難な現状にいる方々を常に思い、心を寄せていくことはできると考えています。

民生委員・児童委員としての役割は勿論のこと、青少年を育てる地区会議、子どもサポート、子育てサロンの主催、学習支援、見守り、声かけ等々、各地区での児童に関わる行事や活動に熱く取り組んでいます。オアシス体育室での子育てサロンまつりや福祉まつり、百万灯パレードでの触合いを楽しみにして下さる方が増え、私達の励みにもなっています。

十二月の一斉改選でメンバーが代わります。主任児童委員を続ける方、別の活動へと拠点を移される方、ひとと同じ立場で集い、研修や講義を受け、見聞を広め、行政とも繋がりを得ました。多くのことを学び、集めた情報を共有し、よりよい対応ができるようにアンテナを張る、等々の経験は、地域活動に向けて良い糧になると確信しています。



高齢福祉部会

記録的な長梅雨に続き、八月の急激な猛暑。体調管理に苦労されたことと思います。さて高齢福祉部会、健康寿命を延ばす！を念頭に会合では「いもっこ体操」の推進・継続策を主に

話し合っております。今年継続のモチベーションアップのために、実年齢と体力年齢を比較できる体組成計を購入しました。五月は「ふれあい福祉祭り」に参加、例年の血圧測定に加え、アムスラーチャート用紙による加齢黄斑変性チェックも実施しました。各委員定期改選三年目すつかり慣れし、参加者の呼び込み、計測、手際よく進む作業に委員の充実感がありました。六月には高齢者の口腔ケアについて歯科衛生士を招き勉強会、改めて日常ケアの大切さを学びました。また、高齢ドライバーの誤操作による暴走事故の増加、ニュースを見るたびに痛みみます。そこで九月には、川越警察に依頼し交通安全についての講義を受けることにしました。今年で各委員長任期満了となります。十月の視察研修は「酒は百薬の長」に鑑み、秩父山系地下よりミネラル豊富な深層天然水を引き込み操業一七〇年、歴史ある埼玉県の酒蔵を訪ねる予定です。百薬

の長にする飲み方とは？楽しんでながら健康寿命延ばしの勉強ができたらと思います。



男女共同参画推進部会

男女共同参画推進部会の活動は「本年の事業計画」に基づき、五月のふれあい福祉まつりから、定例会に学習会を行う事とし、六月十四日には「問題提議型学習会を」試行し、部員一同活発な意見交換が出来ました。七月十二日の定例会を前倒しして、六月二十九日に変更する事を決議しました。ウエスタ川越の男女共同参画推進施設の男女共同参画市民フォーラムのセミナーに十四名で参加しました。「教えて！松尾先生くひとこと言いたい身近な男

女共同参画」講師（女子栄養大学特任教授 松尾鉄城先生）

九月十三日の定例会は部員さんの知人の方を講師として、東日本大震災で比類なき災害に遭われた被害者の方の、現在の実情について勉強会を開催します。



広報部会

広報部会の主な業務は、社会福祉等に関する情報および課題を提供し、川越市民生委員児童委員協議会連合会の活動を活性化する手段として「民児協だより」を年三回発行することです。部員を三グループに分け、それぞれのグループが一年に一号ずつ編集担当し部会全員の了解を経て作業に取り掛かります。編集作業は構成内容の検討から始まり、決定に基づいた文字数を確認し、原稿を各方面に依頼します。執

筆いただいた原稿は、誤字脱字のチェックをし時には修正を加えて、印刷業者へ入稿します。数回の校正を経て、一回の発行作業が終了となります。

最初はほとんどの部員が編集初心者だったため、毎号正誤表を載せていました。しかし、終盤の校正に次号担当のグループメンバーも加わるようになってから、正誤表の掲載頻度が激減しました。

部会員歴三年目になり、編集作業に慣れ、やりがいを持って生き生きと活動しております。



地域の活動紹介

第二地区

永島 恵美子

みんなで楽しく元気に



原町、元町二丁目、仲町、幸町の四ヶ所では、いもっこ体操を主とした体操教室を開催しており、合わせて健康講座も開くなど、大勢の方々が健康づくりに励ん

第二地区は仲町、幸町、元町二丁目、末広町一・二・三丁目、石原町一・二丁目から成っています。歴史的景観を伝える蔵造りの町並や、菓子屋横丁などの観光地エリアと、その西側に広がる住宅地です。古くからの住宅地には高齢者世代が多く居住していますが、近年子育て中の若い世代も移り住んで来ています。

じての、世代間交流の取り組みに力を入れています。仲町、幸町、元町二丁目、末広町では、川越まつりに由緒ある山車を曳き、石原町でも新たな夏の風物詩となった納涼盆踊り大会と灯笼流しが催されて、地域一丸となつてみんなで楽しみ、その絆を深めています。また「七夕まつり」は、地区社協の世代間交流事業として、八つの自治会共同で、長年お年寄りから子どもまで、みんなで一緒に折り紙などの飾りを作り、願い事を短冊に書いて笹所に飾り楽しんでいきます。参加者も大勢で大変好評な行事です。

高年齢化の波は第二地区にもせまりつつあり、介護予防の取り組みも、地域の大きな課題となつてきています。石



でいます。また、一人暮らし高齢者の食事会や趣味の会場を設けて、少しでも交流の機会を増やしていく取り組みも試みられています。

今後も、みんなで楽しく元気に暮らせる地域のため、身近な人々と手を携えていきたいと思つています。

第六地区

大野 一美

広い世代で交流を

第六地区は川越駅から本川越駅周辺までの南北に沿った地域で、新富町一・二丁目、通町、南通町、脇田町の五つの自治会で構成され



多く、居住者カードの提出率は低くなつています。そのような中、住民同士が挨拶や交流を図るための様々な取り組みを行つています。

ています。地域には市民に馴染み深い老舗百貨店のほか、古い創建の川越八幡宮、観光拠点のひとつ川越市産業観光館「小江戸蔵里」などがあります。校区は、中央小学校、仙波小学校、第二中学校になつています。民生委員・児童委員は定数十一名ですが、現在八名の少数精鋭で活動しています。近年、マンションが多数建設されるに伴つて居住者は増えていますが、賃貸やワンルームも



大きな地域活動として、第六地区社協による世代間交流福祉納涼大会を毎年八月上旬の二日間、百貨店の駐車場を借りて開催しています。参加者は子供から高齢者まで延べ千人を数え、盆踊りで地域の仲間づくりを行つています。さらに、子供には輪投げ、綿あめ、スパーボールすくい、高齢者には福引で楽しんでいただきます。そして全国的に有名になった川越まつりには、五つの自治会それぞれが山車で賑やかに参加しています。

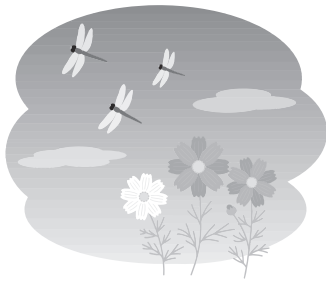
生きがい訪問

● 第五地区 ●

笛木とみ子さん



今年の八月に、米寿を迎えました。足が衰えないように、日々身体を動かすことを心がけています。朝起きると、大勢の人が参加する喜多院のラジオ体操に出かけます。昨年「コバトンマイレージ」の万歩計を身に付け、歩数を増やすことを目的に楽しみながら歩くようにしています。また、オアシスやふれあいセンターで開かれる卓球



サークル活動への参加も、今年で二十年目になりました。小仙波町集会所で月二回行われる「いもっこ体操」の活動にも参加し、指導を受けながら身体を動かしています。

町内の月二回のカラオケにも参加して、舞台上で発表するために、みなさんと一緒に歌の練習に励んでいます。また、昨年からはまった地域包括支援センター主催の月一回の小仙波町の「オレンジカフェ」には欠かさず参加し、みなさんとおしゃべりをしながら、楽

しいひとときを過しています。

目も耳もだいぶ衰えてきました。昨年生まれた三人のひ孫には、長年続けた洋裁の技術を生かし、おそろいの帽子とリュックサックを作り、一歳の誕生日にプレゼントしました。喜んで身に付けてはしゃぐひ孫たちの姿を見ると、まだまだ長生きしなければと感じています。



● 山田地区 ●

粕谷加津子さん



私は民生委員・児童委員として、三期お世話になりました。それ以前に、川越

市保健推進員として、十年

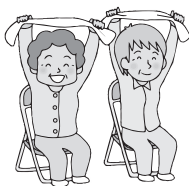
間、地域での活動が出来た事により大勢の方々を知り合いになりました。現在はボランティアとして、施設での見守りや一緒に編物をしたり、お話し相手をしたりしています。今、生きがいは「何」と聞かれたら、自分の好きな事が出来るということ私は手作り出来るものが好きです。たとえば、編物、縫い物、出来そうなものは何でも作ってみます。上手に出来なくても、毎月金曜日には「つくしの会」の仲間といろいろな物を作っています。牛乳パックで椅子や、布草履や、帽子



や、お手玉等々、みんなで形になるのを楽しみながら手作りしています。その手作り品を、毎年行われるふれあい福祉まつりの会場で販売をしています。

地域では、いもっこ体操教室でいい汗をかいています。その他に、趣味として、大正琴、日本舞踊、パンフラワーを楽しんでいます。

これからは老いたらば、怒らず、転ばず、風邪ひかず、この三つを心がけ二人仲よく、元気で過ごしたいと思えます。



地区民児協だより

第七地区

宮川 敏枝

民児協第七地区は、川越駅東口より東へ2kmに位置しており仙波町一・二・三・四丁目、菅原町、富士見町、大仙波の七町内で構成されています。

それぞれ各町内で、いもっこ体操、オレンジカフェ、サロン等、地域の皆さんとの交流に力を入れています。又、お年寄りだけでなく世代間交流として本年七月末日の日曜日には氷



川神社境内の清掃を実施しました。

あいにくの雨にもかかわらず多数参加していただき有意義な時間を過ごす事が出来ました。ここに参加して下さいました皆様にお礼申し上げます。

私共仙波四丁目では、いもっこ体操が盛んで自主グループ発足六年目に入り、親睦も深まり会員数も増え現在四十六名で活動しています。

「元気で明るく楽しく」をモットーに八名のサポーターがプログラムを考え、楽しく体を動かしています。会員の皆様が楽しみにしているのが、氷川神社境内で

新緑の下での食事会と新年会でのかくし芸大会です。会員皆様の童心に返った笑顔がとても素敵です。これからも「イキイキ老後」を目標に地域の皆様にお力を借りながら頑張りたいと思っております。



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の名号をクリック

川越市社協

検索

主な市民児連活動予定

- 十月一日 赤い羽根共同募金への協力
- 十月七・八日 地区民児協 正副会長研修
- 十月十一日 歳末たすけあい運動 援護対象者申請 締め切り
- 十月二十五日 川越市社会福祉大会
- 十月二十八日 理事会
- 十一月三日 在宅障害児招待事業
- 十一月二十二日 全国社会福祉大会
- 十一月二十八日 埼玉県社会福祉大会
- 十二月一日 民生委員委嘱伝達式
- 十二月十六日 理事会
- 十二月中旬 歳末たすけあい運動 援護金伝達
- 一月中旬 地区民児協止副会長及び 部会長新年懇親会



時の鐘

今年の夏も厳しい猛暑が続きました。また、台風やゲリラ豪雨等も多く、大変な日々を過ごした方も多かった事と思います。

民児協だよりでは地区民児協、各部会の活動報告だけでなく、様々な活動を通して、生き生きと暮らしていただける方々に届けたいです。何かと暗い話題も多い今日この頃ですが、少しでも、読んで元気が出る、そして民生委員・児童委員の日々の活動に有益な情報を発信できるようにと、広報部員一同、力を合わせ編集作業にあたっています。第七十八号の編集担当は、急式悦子、助川和江、早川邦江、増田佳子、山岸富士、山本千恵子、渡辺耕造の七名です。

